２０１６．４　No.74

名古屋大学
国際言語文化研究科
全学向け授業案内

「外国語特別研修コース」について

国際言語文化研究科全学向け授業「外国語特別研修コース」はいわゆる演習を主体とした少人数による外国語授業です。皆さんの積極的な受講を期待しています。

2016年度前期

〈学部学生の単位認定について〉

◆単位認定されない場合

「国際言語文化研究科全学向け授業」として登録する場合、基本的に単位認定されません。本冊子に従って手続きをしてください。

◆単位認定される場合

(1) 以下の学生が「国際言語文化研究科全学向け授業」として登録する場合

・NUPACE 所属の学生→文系教務課（国際言語文化研究科）窓口と NUPACE（オンライン）で登録

・一部の学部学生→所属の教務担当窓口で登録方法を確認

(2) 全学教育科目の「言語文化Ⅱ」として登録する場合

・教養教育院事務室にて登録

（詳細は、教養教育院作成の「履修に関する注意事項」を参照）

Ⅰ．授業科目

「授業時間割表」及び「授業要覧（シラバス）」については 8 ページ以降をよく読んでから手続きすること。

外国語特別研修コース

科目	開講期間 前期	開講期間 後期	科目		開講期間 前期	開講期間 後期
特別英語セミナー（Writing）a	○	—	ドイツ語 フランス語 ロシア語 中国語 スペイン語 朝鮮・韓国語	Level 1 a	○	—
特別英語セミナー（Writing）b	—	○		Level 1 b	—	○
特別英語セミナー（Presentation）a	○	—		Level 2 a	○	—
特別英語セミナー（Presentation）b	—	○		Level 2 b	—	○
特別英語セミナー（Reading）a	○	—	ポルトガル語 イタリア語	Level 1 a	○	—
特別英語セミナー（Reading）b	—	○				
特別英語セミナー（Certificate Tests）a	○	—		Level 1 b	—	○
特別英語セミナー（Certificate Tests）b	本年度は開講しない					

注）Level 1，2は、この順で授業内容が高度になります。

Ⅱ．授業期間・休業日・休講日・授業時間帯

1．授業期間

前期：2016年 4 月11日（月）～ 2016年 7 月22日（金）

後期：2016年10月 1 日（土）～ 2017年 1 月27日（金）

2．休業日

夏季休業期間：2016年 8 月 8 日（月）～ 2016年 9 月30日（金）

冬期休業期間：2016年12月28日（水）～ 2017年 1 月 7 日（土）

3．休講日

名大祭期間：2016年 6 月 2 日（木）午後～ 6 月 5 日（日）

大学入試センター試験実施準備：2017年 1 月13日（金）（予定）

4．定期試験期間

前期：2016年 7 月25日（月）～ 8 月 5 日（金）

後期：2017年 1 月30日（月）～ 2 月10日（金）

5．授業時間帯

第１時限　８：45 ～ 10：15
第２時限　10：30 ～ 12：00
第３時限　13：00 ～ 14：30
第４時限　14：45 ～ 16：15
第５時限　16：30 ～ 18：00

Ⅲ．受講対象者

受講対象者は、本学の学部学生、大学院生、特別聴講学生、研究生等及び本学職員です。
ただし、科目等履修生、聴講生は受講できません。

Ⅳ．休講等

各授業科目の休講、教室変更、授業に関わることは、全学教育棟本館１階「全学向け授業掲示板」（７ページ配置図参照）で通知します。

Ⅴ．成績の通知

成績評価の通知は以下のとおり行います。

１．学部学生、大学院生、研究生等については、各部局長あてに通知します。
２．職員については、本人に通知します。

Ⅵ．受講の辞退

事情により学期途中で受講できなくなった場合には、各授業の「授業要覧」（10ページ以降）及び各授業担当教員の指示に従ってください。

Ⅶ．受講申込手続き

特別英語セミナー

◆〔４月18日（月）～22日（金）〕から開講します。

１．受講申込カード配付場所及び申込場所　※配付するカード　⇒　**黄色（４連）**
文系総合館１階　文系教務課事務室（国際言語文化研究科）窓口（６ページ配置図参照）

２．カード配付・申込期間及び時間　※この期間以外は受け付けません。
期　間：2016年４月８日（金）～ 11日（月）、12日（火）
時　間：９：00～12：00、13：00～17：00

３．受講申込カード記入・提出について
①下記注意事項Ⓐ・Ⓑを確認し、「受講申込カード」（**黄色４連**）に必要事項を記入のうえ、申込期間中に文系教務課事務室（国際言語文化研究科）窓口に提出してください。
②学生証、Ⓐの原本を窓口で提示してください。〈本人保存用〉及び〈教員保存用〉カードを返却しますので、〈教員保存用〉カードは第１回目の授業時に授業担当教員に渡してください。
③〈本人保存用〉カードに記載してある受講受付番号により受講調整結果を掲示しますので、〈本人保存用〉カードは保管しておいてください。

Ⓐ『**TOEIC等点数**』
「特別英語セミナー」の受講を希望する人は全て、TOEIC公開試験等の英語検定試験の点数を受講申請の際に記入する必要があります。TOEIC等の受験は各自で行ってください。
申請時に下記基準を満たしていない場合は申請できません。得点証明書（２年以内に受験したもの）の**原本**を持参してください。確認・複写後、返却します。

名　称	申請基準
TOEFL-ITP	515以上
TOEFL-PBT	515以上
TOEFL-iBT	67以上
TOEIC	630以上
IELTS	5.5以上

※いずれの検定試験も正規の公開試験の結果のみを基準とする（TOEFL-ITP を除く）。

Ⓑ**『希望するクラス』**

受講したいクラスを第２希望まで記入してください。第２希望は、第１希望の後に、括弧（　）をつけて書いてください。

４．受講調整結果の発表

受講希望者が受講可能人数を超える場合は、英語力の点数に基づき、上位の学生からクラスを決定します（決定後の問い合わせには応じません）。

定員に限りがあるので、受講希望者が全員受講できるとは限りません。

■発表日時及び発表場所

日　時：　2016年４月14日（木）９：00～

場　所：　全学教育棟本館１階「全学向け授業」掲示板（７ページ配置図参照）

および、文系教務課窓口（６ページ配置図参照）

５．第１回目の授業を無断で欠席した場合は、受講放棄とみなしますので、ご注意ください。この件に関する質問に対して、文系教務課（国際言語文化研究科）は対応しません。

英語以外の外国語

◆〔４月11日（月）～15日（金）〕から開講します。

◆全学教育科目の「言語文化Ⅱ」として登録する学生が優先となります。希望者が多数の場合は第１回の授業時に受講調整を行います。

１．受講申込カード配付場所　　**※配付するカード　⇒　水色（３連）**

文系総合館１階　文系教務課事務室（国際言語文化研究科）窓口（６ページ配置図参照）

２．カード配付期間及び時間

期　間：2016年４月６日（水）～22日（金）

時　間：９：00～17：00

３．受講申込カード記入・提出について

①受講申込カード（**水色**）に記入し、第１回目の授業時〔４月11日（月）～15日（金）〕に受講許可を得て、〈教員保存用〉カードを授業担当教員に渡してください。

②〈事務室保存用〉カードを文系教務課事務室（国際言語文化研究科）窓口の「受講申込カード提出用ボックス」に提出してください（締切厳守）。

４．申込期間及び時間

期　間：2016年４月11日（月）～22日（金）

時　間：９：00～17：00

2016年度前期全学向け授業「外国語特別研修コース」特別英語セミナー
受講申込から授業受講までの流れ

文系教務課（国際言語文化研究科）	受講希望者 学部学生（「国際言語文化研究科全学向け授業」として登録する場合のみ）、大学院生、特別聴講学生、研究生等及び本学職員	国際言語文化研究科全学向け授業担当教員

4月8日（金）～11日（月）、12日（火）
9：00～12：00、13：00～17：00

受講申込カード配付及び受付

受講申込カード〔黄色（4連）のカード〕及びTOEIC等得点証明書の提出
〔文系教務課（国際言語文化研究科）窓口〕
〔文系総合館1階〕

4月14日（木）
9：00～

調整結果の発表及び掲示

受講可能クラスの確認
〔全学向け授業掲示板〕〔全学教育棟本館1F〕および、
〔文系教務課（国際言語文化研究科）窓口〕〔文系総合館1階〕

受講許可者のみ

4月18日（月）、22日（金）

第1回目の授業実施

〈教員保存用〉カードの提出
〔各全学向け授業担当教員〕

2016年度前期全学向け授業「外国語特別研修コース」英語以外の外国語
受講申込から授業受講までの流れ

文系教務課 （国際言語文化研究科）	受講希望者 **学部学生（「国際言語文化研究科全学向け授業」として登録する場合のみ）、大学院生、特別聴講学生、研究生等及び本学職員**	国際言語文化研究科 全学向け授業担当教員

4月6日（水）
～22日（金）
9：00～17：00

受講申込カードの配付

受講申込カード〔水色（3連）のカード〕の受取
〔文系教務課（国際言語文化研究科）窓口〕
〔文系総合館1階〕

4月11日（月）、
15日（金）

第1回目の授業実施

〈教員保存用〉カードの提出
〔各全学向け授業担当教員〕
⇒担当教員による受講調整

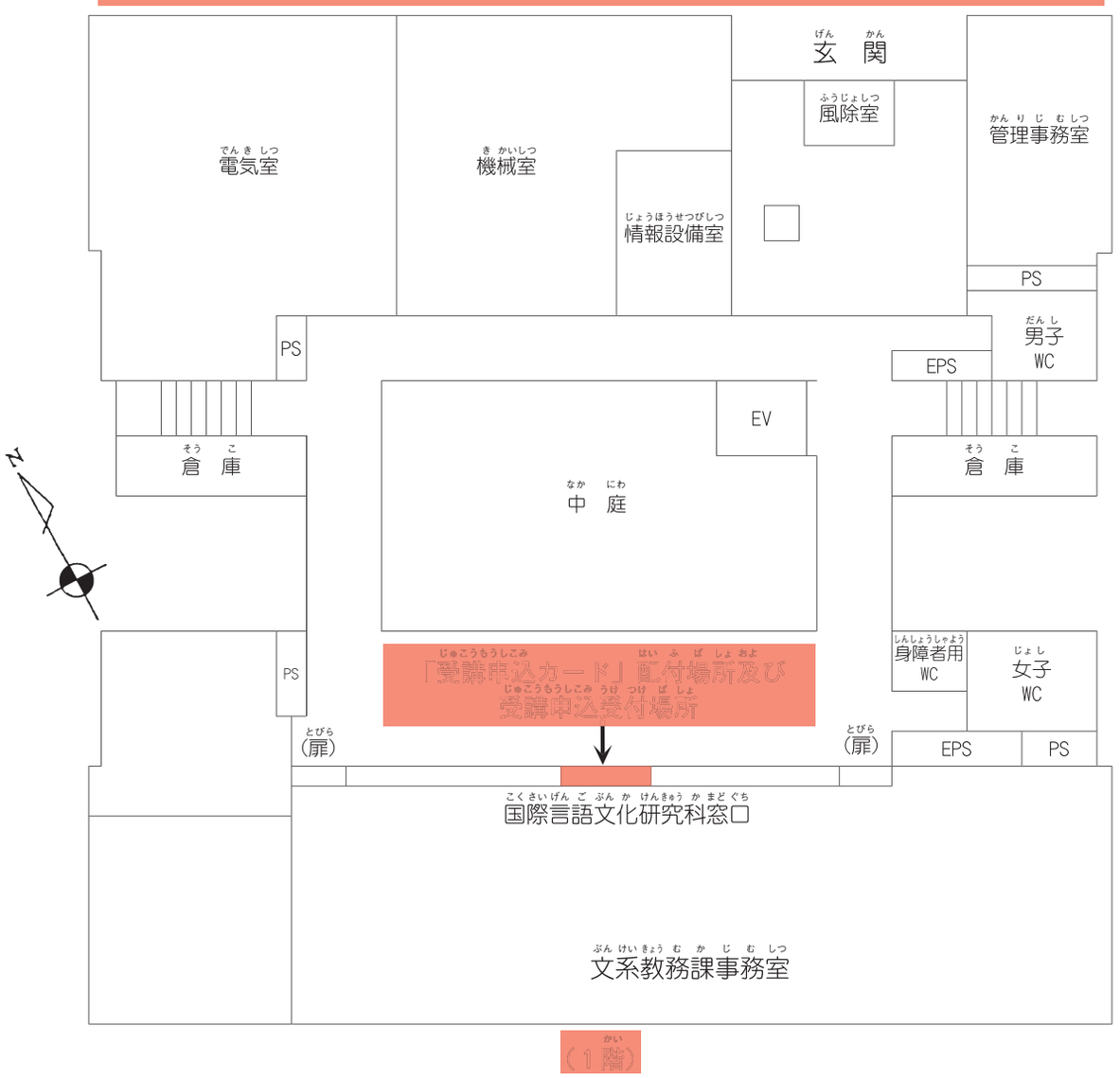
4月11日（月）
～22日（金）
9：00～17：00

受講登録手続

〈事務室保存用〉カードの提出
〔文系教務課（国際言語文化研究科）窓口
「受講申込カード提出用ボックス」〕
〔文系総合館1階〕

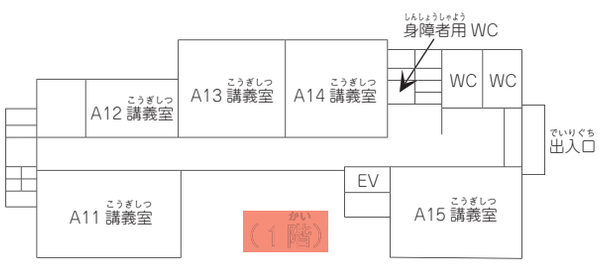
文系総合館及び全学教育棟教室等配置図

文系総合館１Ｆ

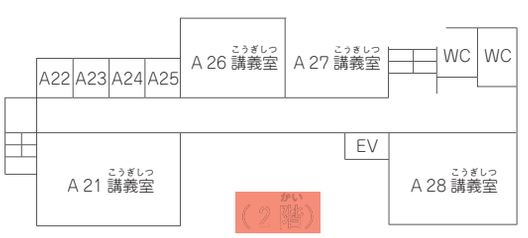


（１階）

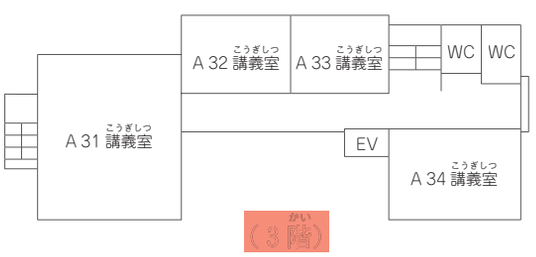
《全学教育棟　Ａ館》



（１階）

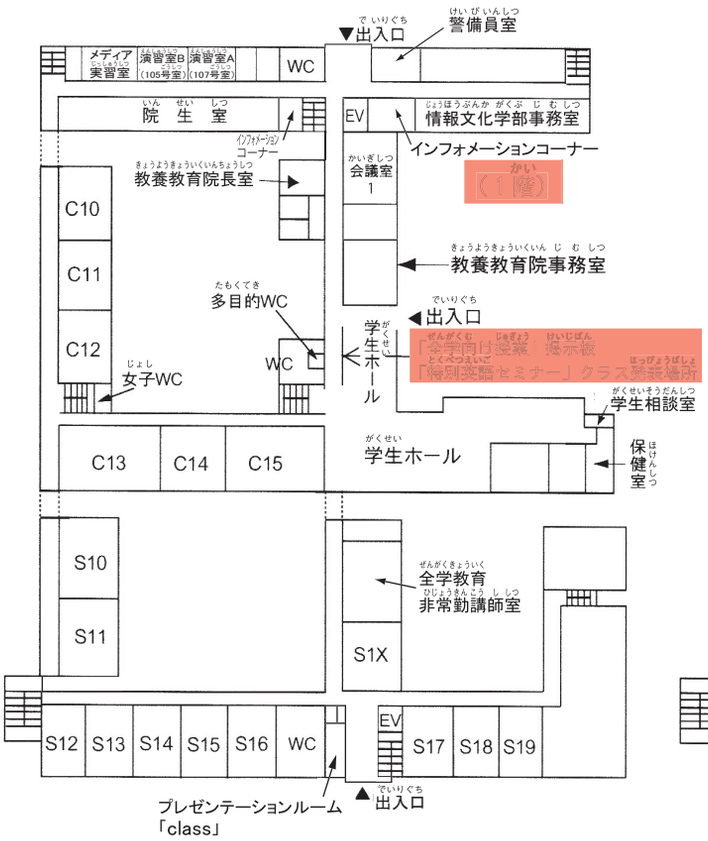


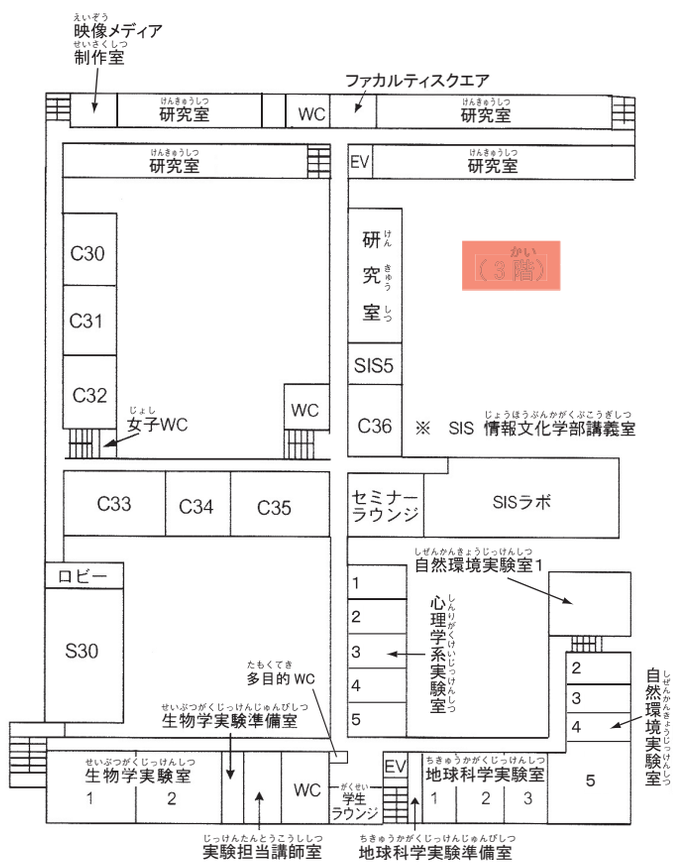
（２階）

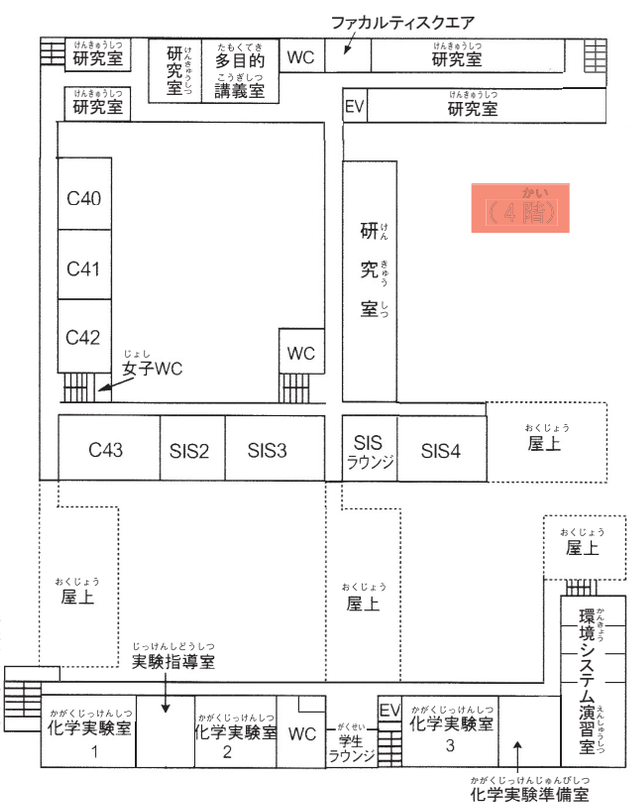


（３階）

《全学教育棟本館（情報文化学部）》







2016年度前期・授業時間割 表

「外国語特別研修コース」

	授業科目	記号	担当教員	曜日(時限)	教室	定員	備考
英語	特別英語セミナー (Writing)a	A	HAIG EDWARD	木４	C41	20	
	特別英語セミナー (Writing)a	B	TOOHEY David	火２	A12	20	
	特別英語セミナー (Writing)a	C	TOOHEY David	火３	A13	20	
	特別英語セミナー (Presentation)a	D	DEACON Robert Joel	火３	A26	20	
	特別英語セミナー (Presentation)a	E	TOOHEY David	火４	C21	20	
	特別英語セミナー (Presentation)a	F	TOOHEY David	水４	S12	20	
	特別英語セミナー (Presentation)a	G	WEEKS Mark Charles	火３	A14	20	
	特別英語セミナー (Reading)a	H	NILEP Chad Douglas	木２	A11	20	
	特別英語セミナー (Reading)a	I	CROSS Jeremy D.	水４	S13	20	
	特別英語セミナー (Certificate Tests)a	J	岩城奈巳	火２	CALL3	20	
ドイツ語	ドイツ語　Level 1a		梶浦直子	水１	S14	20	後期に継続
	ドイツ語　Level 2a		RUDE Markus	金３	C21	20	後期に継続
フランス語	フランス語　Level 1a		奥田智樹	金５	C11	20	後期に継続
	フランス語　Level 2a		BAUMERT Nicolas	月５	S2X	20	後期に継続
ロシア語	ロシア語　Level 1a		郡　敏子	火２	A11	20	
	ロシア語　Level 2a		山崎　タチアナ	金４	C12	20	
中国語	中国語　Level 1a		辻　千春	水１	S12	20	後期に継続
	中国語　Level 2a		劉　欣	水３	A13	20	
スペイン語	スペイン語　Level 1a		宮下克子	水４	S14	20	後期に継続
	スペイン語　Level 2a		川田玲子	木４	C42	20	
朝鮮・韓国語	朝鮮・韓国語　Level 1a		黒崎慶子	金３	C22	20	後期に継続
	朝鮮・韓国語　Level 2a		金　賢珍	金４	C19	20	後期に継続
ポルトガル語	ポルトガル語　Level 1a		渡辺有美	水１	C42	20	後期に継続
イタリア語	イタリア語　Level 1a		A. Sciucca	水４	S15	20	後期に継続

注）講義室の表示について

○Cで始まるもの，　CALL教室，　サブラボ　⇒　全学教育棟本館

○Aで始まるもの　⇒　全学教育棟A館

○Sで始まるもの　⇒　全学教育棟本館南棟

2016年度後期・授業時間割 表

「外国語特別研修コース」

	授業科目	記号	担当教員	曜日(時限)	教室	定員	備考
英語	特別英語セミナー (Writing)b	A	DEACON Robert Joel	火２	A21	20	
	特別英語セミナー (Writing)b	B	NILEP Chad Douglas	金２	B32	20	
	特別英語セミナー (Writing)b	C	未定	木３	S21	20	
	特別英語セミナー (Presentation)b	D	WEEKS Mark Charles	水４	A13	20	
	特別英語セミナー (Presentation)b	E	WEEKS Mark Charles	水５	A33	20	
	特別英語セミナー (Presentation)b	F	未定	火３	C20	20	
	特別英語セミナー (Presentation)b	G	未定	水５	A32	20	
	特別英語セミナー (Reading)b	H	CROSS Jeremy D.	月４	A13	20	
	特別英語セミナー (Reading)b	I	未定	水４	A14	20	
ドイツ語	ドイツ語　Level 1b		白川　茜	水２	C21	20	前期から継続
	ドイツ語　Level 2b		RUDE Markus	金３	C11	20	前期から継続
フランス語	フランス語　Level 1b		新井美佐子	月５	A26	20	前期から継続
	フランス語　Level 2b		BAUMERT Nicolas	月５	A27	20	前期から継続
ロシア語	ロシア語　Level 1b		SAVELIEV IGOR	火２	C43	20	
	ロシア語　Level 2b		山崎　タチアナ	金４	A13	20	
中国語	中国語　Level 1b		辻　千春	水２	S12	20	前期から継続
	中国語　Level 2b		前田光子	月３	C10	20	
スペイン語	スペイン語　Level 1b		A. Villalobos	水４	S12	20	前期から継続
	スペイン語　Level 2b		川田玲子	木4	C36	20	
朝鮮・韓国語	朝鮮・韓国語　Level 1b		黒崎慶子	金３	C12	20	前期から継続
	朝鮮・韓国語　Level 2b		金　賢珍	金４	A14	20	前期から継続
ポルトガル語	ポルトガル語　Level 1b		渡辺有美	水1	A12	20	前期から継続
イタリア語	イタリア語　Level 1b		A. Sciucca	水４	A27	20	前期から継続

注）講義室の表示について

○Cで始まるもの，　CALL教室，　サブラボ　⇒　全学教育棟本館

○Aで始まるもの　⇒　全学教育棟A館

○Sで始まるもの　⇒　全学教育棟本館南棟

授業要覧

〈外国語特別研修コース〉

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授業内容
特別英語セミナー(Writing)a	HAIG EDWARD	木4	20	**本授業の目的およびねらい** The overall purpose of this advanced level writing course is to develop students' academic and professional English writing skills and help them gain self-confidence in writing a variety of different kinds of texts. Specifically, the course aims to teach students how to write more skillfully though the use of an extensive reading based report writing approach. Through this course, students will have a chance improve their writing, reading and speaking abilities and to share ideas about the books they have read. **履修条件・関連する科目等** 検定試験の成績による受講制限あり。 **授業内容**　In this course, students will write reports on the books they read. They will then take it in turns to give short (approximately 10 minute) oral slide-based presentations in English on books that they have read and any particular difficulties they encountered in reading them. The aim of the course is to break away from dependence on textbooks or simulated communication organized by the teacher and move instead towards genuine communication organized by the students themselves. Accordingly, students will not be obliged to write about particular books but will be free to write about any books that interest them and which they feel will interest their classmates. However, given that this is an advanced class, it is hoped that students will choose to write at least one report about a book related to their academic or professional interests. Students will be expected to write either two or three reports, depending on the number of participants who take the course. Students must prepare, edit and proofread their written reports carefully. While each student is giving their presentation, based on their reports, the other students will take notes, either in English or Japanese. After each presentation there will be a follow-up question and answer / discussion session in English and the teacher will provide the presenter with detailed personalized feedback on his or her report and presentation performance and give advice on how to improve their writing, reading and speaking skills. **成績評価方法**　For this course the grade will be based on the class-based activities (specifically: report writing 60%, presentations based on the reports 20%, note-taking 10%, participation 5%) and attendance 5%. **教科書**　None. However, students will be responsible for producing copies of their reports for the instructor and the other participants when they give their presentations. **注意事項**　5回以上授業を欠席した場合は「欠席」とする。履修取り下げ制度を採用しない。 **受講者へのメッセージ**　Always expect the unexpected!

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授業内容
特別英語セミナー(Writing)a	TOOHEY David Edward	火2	20	**本授業の目的およびねらい** The purpose of this class is to help students gain confidence and skill in academic writing. Students will improve their ability to write clearly and logically. **授業内容**　We will work on advanced academic writing structures. We will learn strategies to do the following things: 1) Understanding different types of academic writing; 2.) writing thesis statements; 3) incorporating evidence into well-structured paragraphs; and 5) various ways to incorporate ideas that we disagree with Week 1: Class Introduction [Free writing] Week 2: Journal Articles: Components, purposes, evaluations Week 3: Journal Articles: Literature Reviews Week 4: Academic Books: Components, purposes, evaluations Week 5: References and Reference Lists: How to make and read them Week 6: Book reviews Part 1: How to write them Week 7: From thesis statements to topic sentences and conclusions Week 8: Evidence and well-structured paragraphs Week 9: Using film and literature in paragraphs Week 10: Using numerical evidence in paragraphs Week 11: Using juxtaposition in essays Week 12: Acknowledging Part 1: Showing you read other debates Week 13: Acknowledging Part 2: Dismissing other debates Week 14: Discussing ideas we partially agree with Week 15: Book reviews part 2: Politely critiquing ideas **成績評価方法**　In class quizzes (20%); class participation (especially writing and giving evaluative feedback to other students (30%); and a final paper (50%). **教科書**　The teacher will prepare handouts for students. Students will be responsible for distributing an appropriate amount of photocopies of their writing in their class. Please bring a dictionary to all classes. **注意事項**　5回以上授業を欠席した場合は「欠席」とする。履修取り下げ制度を採用しない。 **受講者へのメッセージ**　Note: this is an advanced class. As such, teacher and student feedback will focus on writing structure and strategy rather than grammar and spelling.

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授業内容
特別英語セミナー(Writing)a	TOOHEY David Edward	火3	20	**本授業の目的およびねらい** The purpose of this class is to help students gain confidence and skill in academic writing. Students will improve their ability to write clearly and logically. **授業内容**　We will work on advanced academic writing structures. We will learn strategies to do the following things: 1) Understanding different types of academic writing; 2.) writing thesis statements; 3) incorporating evidence into well-structured paragraphs; and 5) various ways to incorporate ideas that we disagree with Week 1: Class Introduction [Free writing] Week 2: Journal Articles: Components, purposes, evaluations Week 3: Journal Articles: Literature Reviews Week 4: Academic Books: Components, purposes, evaluations Week 5: References and Reference Lists: How to make and read them Week 6: Book reviews Part 1: How to write them Week 7: From thesis statements to topic sentences and conclusions Week 8: Evidence and well-structured paragraphs Week 9: Using film and literature in paragraphs Week 10: Using numerical evidence in paragraphs Week 11: Using juxtaposition in essays Week 12: Acknowledging Part 1: Showing you read other debates Week 13: Acknowledging Part 2: Dismissing other debates Week 14: Discussing ideas we partially agree with Week 15: Book reviews part 2: Politely critiquing ideas **成績評価方法**　In class quizzes (20%); class participation (especially writing and giving evaluative feedback to other students (30%); and a final paper (50%). **教科書**　The teacher will prepare handouts for students. Students will be responsible for distributing an appropriate amount of photocopies of their writing in their class. Please bring a dictionary to all classes. **注意事項**　5回以上授業を欠席した場合は「欠席」とする。履修取り下げ制度を採用しない。 **受講者へのメッセージ**　Note: this is an advanced class. As such, teacher and student feedback will focus on writing structure and strategy rather than grammar and spelling.

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授業内容
特別英語セミナー (Presentation) a	DEACON Robert Joel	火3	20	**本授業の目的およびねらい** 本授業は、英語という言語、その言語が培ってきた文化、および現代社会における英語文化についての深い教養を身につけることをその目的とする。英語・英語文化にかかわる様々な主題についての文献・資料調査、調査に基づく英語による口頭発表など、少人数授業の利点を生かした学習活動を行い、研究拠点大学である名古屋大学の学生にふさわしい学術英語の運用能力をさらに高めることを目指す。 **授業内容** Language influences culture and culture influences language. This course investigates what the English language is (and by analogy notions of language in general) to enrich students both about English culture(s) and varieties of English. Students will investigate common beliefs about the English language and learn why many of these beliefs may not be true. In sum, students will become more proficient in English as they acquire a deeper understanding of English. **成績評価方法** Grades are based on participation in class activities (20%), 2 individual presentations (30%), bi-weekly quizzes (20%), one group presentation (10%), and e-learning outside of class (20%) (See special instructions below) **参考書** None is required but a good dictionary might be helpful. **注意事項** 対面授業に加え、課外学習として電子教材を課し、その成績に基づく評価を授業全体の評価の20％とする。なお、5回以上欠席をした場合、「欠席」の評価がつく。履修取り下げ制度は採用しない。 **受講者へのメッセージ** Students are required to read the assigned materials outside of class in order to be ready for discussion during class time. Students will also have to meet with other classmates outside of class to work on their group presentation.
特別英語セミナー (Presentation) a	TOOHEY David Edward	火4	20	**本授業の目的およびねらい** The purpose of this presentation class is for students to improve their presentation skills by doing presentations and by evaluating other students' presentations. Students will focus on improving the content of their presentation as well as non-content skills. **授業内容** Students will learn strategies for effective presentation through: a) in class lectures: b) readings about presentation strategies; c) doing presentations; and d) receiving student and teacher feedback. Students will provide feedback. The teacher will give detailed feedback on the presentation. Week 1: Introduction Week 2: Academic Presentations [Watch videos of academic presentations] Week 3: TED Talks [evaluate quality of TED Talks] Week 4: Effective hand gestures Week 5: Presentations using hand gestures Week 6: Political presentations: words, pauses, tone of voice, volume of voice and persuasion. Week 7: Shadowing political presentations Week 8: Presentations incorporating words, pauses, tone of voice, and volume changes. Week 9: Using conjunctions effectively in your presentation Week 10: Avoiding information overload: Dual Channel Communication Week 11: Avoiding information overload: PowerPoint Handouts Week 12: Presentation formats effectively using PowerPoint Week 13: Making notes style handouts Week 14: Final Presentations Week 15: Final Presentations

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授業内容
特別英語セミナー (Presentation) a	TOOHEY David Edward	火4	20	**成績評価方法**　For this course the grade will be based on the class-based activities: presentations 60%; quality of presentation handouts 15%; quality of feedback given to other students 25%. **教科書**　The teacher will give handouts with readings on various presentation skills and strategies. In addition the students are responsible for distributing handouts for their own presentations. Please bring a dictionary. **注意事項**　5回以上授業を欠席した場合は「欠席」とする。履修取り下げ制度を採用しない。
特別英語セミナー (Presentation) a	TOOHEY David Edward	水4	20	**本授業の目的およびねらい** The purpose of this presentation class is for students to improve their presentation skills by doing presentations and by evaluating other students' presentations. Students will focus on improving the content of their presentation as well as non-content skills. **授業内容**　Students will learn strategies for effective presentation through: a) in class lectures: b) readings about presentation strategies; c) doing presentations; and d) receiving student and teacher feedback. Students will provide feedback. The teacher will give detailed feedback on the presentation. Week 1: Introduction Week 2: Academic Presentations [Watch videos of academic presentations] Week 3: TED Talks [evaluate quality of TED Talks] Week 4: Effective hand gestures Week 5: Presentations using hand gestures Week 6: Political presentations: words, pauses, tone of voice, volume of voice and persuasion. Week 7: Shadowing political presentations Week 8: Presentations incorporating words, pauses, tone of voice, and volume changes. Week 9: Using conjunctions effectively in your presentation Week 10: Avoiding information overload: Dual Channel Communication Week 11: Avoiding information overload: PowerPoint Handouts Week 12: Presentation formats effectively using PowerPoint Week 13: Making notes style handouts Week 14: Final Presentations Week 15: Final Presentations **成績評価方法**　For this course the grade will be based on the class-based activities: presentations 60%; quality of presentation handouts 15%; quality of feedback given to other students 25%. **教科書**　The teacher will give handouts with readings on various presentation skills and strategies. In addition the students are responsible for distributing handouts for their own presentations. Please bring a dictionary. **注意事項**　5回以上授業を欠席した場合は「欠席」とする。履修取り下げ制度を採用しない。

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授業内容
特別英語セミナー (Presentation) a	WEEKS Mark Charles	火3	20	**本授業の目的およびねらい** The main aim is to give class members opportunities to develop skills and confidence for international communication. Presentations are the core element; however, general discussion and conversation skills are practiced regularly throughout the course to help students prepare for future cross-cultural situations and to enjoy them. **履修条件・関連する科目等** Check guidelines for registration for English special seminars（英語特別セミナー）in the handbook or online. **授業内容**　Classes are conducted in a relaxed, informal atmosphere. While brief instruction is given on important aspects of presentations, the emphasis is on free exchange of ideas and student participation. To that end, we will be seated in groups with different partners each class to maximize English communication opportunities. The course contains discussion and practice loosely according to the following outline: 1. Orientation, greetings, warm up discussions 2. Overcoming nervousness and enjoying presenting 3. Clear presentation structure 4. English expressions for clear organization 5. Delivery: voice, body language 6. Techniques and language for stress-free question time 7-9. Mid-term presentations 10. Effective slide design and use of slide software 11. Techniques and vocabulary for conversation at international events 12-14. Final presentations 15. Course review All classes will contain some informal discussion time to develop skills and confidence for international communication contexts. **成績評価方法**　発表 x2（50%） 宿題（10%） 出席等（40%） **教科書**　無 . All materials provided by instructor **参考書**　英和・和英辞典 **注意事項**　It is not possible to receive credits for this class with 5 or more class absences.［5 回以上欠席をした場合、「欠席」の評価がつく .］ **受講者へのメッセージ**　Presentations are an increasingly important activity in communication across cultures. At the same time, they are also a context in which we can express our ideas and develop our communicative confidence. Let’s challenge ourselves to take a further step out into the world.

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授業内容
特別英語セミナー（Reading）a	NILEP Chad Douglas	木2	20	**本授業の目的およびねらい** The aim of this class is to help students develop their reading skills by reading both short fiction and essays and discussing personal reactions. **履修条件・関連する科目等** 検定試験の成績による受講制限あり。 **授業内容**　We will practice reading a variety of authentic materials. This includes short stories and newspaper reports and essays on politics, economics, and society written in English for English speakers. Students will also practice extensive reading outside of class by choosing their own reading materials and keeping a journal. Class is structured around discussions. Each week you will read some material before coming to class. You will comment on the reading using NUCT message boards. In class, you will discuss this material with other members of the class, offering your reactions and understandings. Course readings alternate between non-fiction essays and fictional short stories. **成績評価方法**　Grades are based on in-class discussion, participation in NUCT message boards, and written responses to your reading, including a reading journal. **教科書**　Readings will be linked from the course website. **参考書**　None are required, but an English dictionary may be useful. **受講者へのメッセージ**　A password is required to access the web site. It will be announced at the first class meeting. A detailed schedule, assignments, and course readings are included on the web site. The course will also use NUCT. Enrolled students should be automatically added to NUCT. Please inform the instructor if there are any problems.
特別英語セミナー（Reading）a	CROSS Jeremy David	水4	20	**本授業の目的およびねらい** 特別英語セミナー（Special English Seminar, SM）は上級者向けにオビ外に置かれ、さらに高度な英語運用能力を身につける機会を提供するために開講する授業である。特別英語セミナー（リーディング）（Special English Seminar Reading、SMR は言語文化Ⅰ授業で培った英語リーディングの力をさらに高いレベルにまで延ばすことを目的とする。” **履修条件・関連する科目等** 検定試験の成績による受講制限あり。 **授業内容**　This class focuses on exploring texts of interest to students through reading on various topics and preparing and participating in related discussions. Reading outside the class is also required. **成績評価方法**　In addition to the information in the Notice for students below, students will be assessed in class on reading preparation and discussion participation. **注意事項**　5回以上欠席をした場合、「欠席」の評価がつく。履修取り下げ制度は採用しない。 **受講者へのメッセージ**　This course is conducted in English.

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授業内容
特別英語セミナー (Certificate Tests) a	岩城　奈巳	火2	20	**本授業の目的およびねらい** 本授業は留学を目指す学生を対象にTOEFL受験の準備を行う。 **履修条件・関連する科目等** 英語に対する意欲。TOEFL-iBTで71点、(CBT:197, PBT/ITP:527)、TOEIC 663点、英検準1級以上のスコア保持者。 **授業内容**　TOEFLには、リーディング、リスニング、スピーキング、ライティングと4セクションあるが、この講義では留学で最も必要とされているライティングを中心におこなう。課題は毎回提出、時間内に解答、その後解説をする。本講義では、グループワーク、ペアワークを中心に行い、クラス内全員で協力し合い、共に学んでいくスタイルをとる。参加学生の積極性を求める。 **成績評価方法**　出席、授業態度を重視する。グループワーク、提出物と試験結果をあわせた総合評価をおこなう。 **教科書**　随時プリント配布またはウェブ使用する。 **参考書**　随時紹介する。 **注意事項**　遅刻厳禁。欠席3回で単位放棄とみなす。 **受講者へのメッセージ**　この授業は留学を目指す学生を対象とする。一人で机にむかって黙々と与えられた課題に取り組むことは自分の時間に出来るので、ディスカッション、ペアワークを取り入れ、本試験の準備に取り組んでいく。
ドイツ語 Level 1a	梶浦　直子	水1	20	**本授業の目的およびねらい** 本授業では基本的なコミュニケーションに必要な表現や文法を定着させる練習を中心に、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の能力をバランスよく培うことを目指します。また、多様なドイツ語の学び方も身につけていきます。 **履修条件・関連する科目等** この授業は後期水曜2限白川先生の授業に引き継がれます。 **授業内容**　この授業は、ドイツで出版された教科書を使用し、ペアワーク、グループワークを多く取り入れます。ドイツ語圏の文化事情に触れながら、文法を理解するだけでなくドイツ語を運用する力を付けていきます。また、コミュニケーションに不可欠な適切な発音ができるようにしていきます。今期は3課まで進めていきます。 主な内容は以下の通りです。 1　挨拶する、自己紹介する、相手の名前や出身をたずねる、自分や他の人を紹介する 2　職業について述べる、短い紹介文を書く、100までの数字 3　家族について話す 主に扱う文法項目： 人称代名詞、動詞の現在人称変化、否定文、名詞の性、不規則動詞、定冠詞、不定冠詞、 **成績評価方法**　授業参加度(30%)+小テスト・課題(30%)+定期試験(40%) 原則として5回以上欠席した場合、定期試験を受験しない場合は「欠席」とします。 **教科書**　Evans他『Menschen Kursbuch A1.1』ISBN 9783193019011 **注意事項**　指示がない限り辞書、PC、スマートフォン等は使用しないこと。

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授業内容
ドイツ語 Level 2a	RUDE Markus	金3	20	**本授業の目的およびねらい** 1．読む、聞く、話す、書くの言語能力を高める 2．グループワークで自立学習の力を身につける 3．プレセンテーション能力を高める 4．ドイツ語圏の生活と文化の知識を深める **履修条件・関連する科目等** 基礎ドイツ語を学んでいること。 **授業内容**　Fuer diesen Kurs gibt es kein Lehrbuch, Sie bekommen Handouts in der Größe A4 oder MP3-Files. Das wichtigste Lernmittel ist Ihr Notizheft. この授業では教科書を使用せず、A4サイズのプリントやMP3ファイルを配布します。一番大事な物はあなたのノートです。 Die Handouts enthalten meist deutsche Texte, manchmal Lieder auf Deutsch, die haeufig ein Spiegel der Kultur sind. Dazu gibt es Uebungen und Hausaufgaben. Jede Stunde beginnt mit einer Frageuebung komplett auf Deutsch, in der Sie mit oder ohne Hilfsmittel auf meine Fragen antworten; diese integriert und entwickelt die ganz oben genannten vier Fertigkeiten der deutschen Sprache. プリントには主にドイツ語のテクスト、時々ドイツ語圏文化を反映した歌を取り入れています。授業のグループワークで使用する練習問題や宿題も含まれます。毎回の授業は質問練習で始め、その場で質問に答えてください。この時にノートを見てもかまいません。この質問練習はすべてドイツ語で行うので、一番上に書いた四つのドイツ語能力を総合的に養います。 In studentischen Praesentationen wird sowohl Vortragen als auch Diskutieren geübt. Die Inhalte dabei sind persoenlich (Familie, Hobby usw.) oder fachlich (Studienfach, Umwelt usw.). プレゼンテーションによって発表やディスカッションも練習します。一年で、個人的な内容（家族、趣味等）や専門的な内容も（専攻、環境等）扱います。 **成績評価方法**　出席点（約30％）、ミニテストやプレセンテーション、課題、授業での活動（積極的なグループワークと発言など）、初回の授業で説明します。 **参考書**　授業時に追って指示する。 **注意事項**　初日はかならず出席して下さい。出席は 80％以上必要です。授業の説明は主に英語で行います。わからなければ、すぐに聞いてください。日本語でもかまいません。 質問練習では:（1）答えは、はっきり聞こえる声で言う。（2）指名されてから辞書を引くのは禁止。（3）わからないときは質問してください。 **受講者へのメッセージ**　Und jedem Anfang wohnt ein Zauber inne, der uns beschuetzt und der uns hilft zu leben. およそ事の初めには不思議な力が宿っている。 それがわれわれを守り、生きるよすがとなる。

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授業内容
フランス語 Level 1a	奥田　智樹	金5	20	**本授業の目的およびねらい** フランス語の基礎的な文法知識を獲得しつつ、それと同時に初歩的な運用能力も修得することを目指す。また、フランス語圏の社会と文化について、基礎的な知識を与える。 **履修条件・関連する科目等** 全学部の学生を対象とする。 **授業内容**　後期月曜５限の授業につなげ、一年間かけてフランス語の初級文法を修得する。教科書に沿って授業を進め、初級文法の基本事項と一般に了解されているものはもれなく学ぶが、文法のための文法ではなく、フランス語を実際に使いこなすという観点から授業を進めたい。 **成績評価方法**　平常点と学期末の筆記試験による。 **教科書**　『新 CD フランス語文法』大木充他著（朝日出版社） **参考書**　授業の中で適宜指示する。 **受講者へのメッセージ**　教師と学生との出会いは、常に一期一会です。輝かしい青春を送っておられる皆さんとのこの貴重な出会いの機会を、ぜひ実り多いものにしたいと思っています。そして、皆さんの大学時代の思い出の片隅にほんのわずかでも残れるような、そんな授業ができればと考えています。
フランス語 Level 2a	BAUMERT Nicolas	月5	20	**本授業の目的およびねらい** 今まで学習したフランス語を実際に使って、会話・作文などの練習をする。フランス語圏の社会・文化についての知識を獲得できるようにする。 **授業内容**　授業は、今まで習ったフランス語を基礎として、様々なテーマを用いて聞き取り、読み書きなどを練習します。 隔週でテキストやビデオを使用し、内容について小作文を作成しその後グループでディスカッションをします。 テーマは、フランス地方について、フランス語圏（ケベック、ベルギー、スイス）の歴史や文化についてです。 **成績評価方法**　授業参加度20％ 宿題 / 発表40％ 期末テスト40％ **教科書**　プリント **参考書**　授業の中で、適宜指示をする。

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授業内容
ロシア語 Level 1a	郡　敏子	火2	20	**本授業の目的およびねらい** ロシア語の世界には、日本ではあまり知られていないけれども、個性的な文化や重要な学問の蓄積が豊富にあります。そのような世界にアクセスするための土台を作ることをめざします。 まず、ロシア語の発音と文字の読み方・書き方を習得し、有用な表現を覚えながら基本文法を確実に身につけていきます。 **授業内容**　ロシア語の基礎体力をつけることを主眼にした教科書を使用し、文法や語彙の説明をしたあと、練習問題を解きます。授業での口頭練習に積極的に取り組んでください。 およそ次のような内容を学びます。 1．文字と発音、基本的な文 2．文字と発音、名詞の性 3．文字と発音、動詞の不定形と現在形（第一変化） 4．名詞の複数形、所有代名詞 5．形容詞、動詞の現在形（第二変化） 6．名詞の前置格、ся-動詞 7．動詞の過去形、名詞の生格 8．名詞の対格、与格 9．動詞の未来形、名詞の造格 10. 格変化まとめ 11. 動詞の体 12. 命令形、形容詞短語尾形 13. 数の表現 14. 運動の動詞 15. 形容詞比較級・最上級、関係代名詞、仮定法 **成績評価方法**　授業中の取り組み・予習・課題・復習（50％）と定期試験（50％）で評価する。 **教科書**　桑野隆『《新版》はじめてのロシア語』白水社 **参考書**　辞書は『博友社ロシア語辞典』『研究社露和辞典』のうちから一冊を購入してください。 推薦参考書：佐藤純一『ＮＨＫ新ロシア語入門〔ＣＤブック〕』日本放送出版協会。 **受講者へのメッセージ**　未知の世界への窓です。予習・復習を忘れず、楽しく着実にロシア語を身につけましょう。

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授業内容
ロシア語 Level 2a	山崎　タチアナ	金4	20	**本授業の目的およびねらい** 1．基礎レベルのロシア語文法を再確認すること。特に、ロシア語の疑問詞の類いやその活用を改めること。 2．ロシア語の語彙をさらに増やすこと。 3．講師がネイティブであるメリットを有効に使いながら、生きた会話の練習をすること。 4．ロシアという隣国の理解を深めること。 5．ロシア語会話能力を身につけること。 **履修条件・関連する科目等** ロシア語の基礎コースを修了した学生、大学院生、教員等 **授業内容** 1.「これは何ですか」、疑問詞「何」を使って不活動体名詞の基礎を習う 2.「誰が作ったのですか」疑問詞「誰」を使って活動体名詞の基礎を習う 3.「何」と「誰」、その１：格変化と生格、与格、対格に用いる前置詞を習う 4.「何」と「誰」、その２：格変化と造格、前置格に用いる前置詞を習う 5.「誰のものですか」、名詞と結合する所有代名詞を習う 6.「どんな住居ですか」、名詞と結合する性質的形容詞を習う 7.「～より良い、～より悪い」、性質的形容詞と副詞の比較級を習う 8.「何処にあるのですか」、生格、造格、前置格を使う言い回しを習う 9.「何処に向かっていますか」、移動を表す定動詞・不定動詞を習う 10.「何処から来ましたか」、「～の中から、～の表面から」という言い回しを習う 11.「どのように学習していますか」、「速度や頻度」を表す副詞を習う 12.「幾つですか」、数詞を使って身近なもの数え方を習う 13.「幾らですか、何歳ですか」、数詞を使って値段、年齢、年数を習う 14.「何時ですか」、一日の流れや時制の言い回しを習う 15.「如何して」と「何しに」という疑問詞の相違点を習う 本授業において、ロシア人が普段よく使う数多くの疑問詞を基礎文法と共に確認しながら、それらを用いる会話的表現をマスターすることを目指します。 その目標を達するため毎回文章作りの宿題を出します。 **成績評価方法**　期末試験60%、平常点20%、小テスト20% 履修取り下げ制度を採用する **教科書**　プリント配布 **参考書**　露和辞典、和露辞典、前年度の教科書等 **注意事項**　ロシア語の文法表を必ず持参すること。 **受講者へのメッセージ**　隣人、隣国を知るには先ずその言葉を理解することが重要です。受講生は、間違いを恐れずに積極的に授業に臨むことを期待します。人間活動における様々なロシア語の言い回しや慣用句を習得して、中級ロシア語をマスターすることを目指しましょう。

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授業内容
中国語 Level 1a	辻　千春	水1	20	**本授業の目的およびねらい** 中国語を初めて学ぶ受講生を対象とする。「読む」「書く」「聞く」「話す」の４技能をバランスよく総合的に身につけ、中国語に親しむことを目指す。また言語習得の一助となるようその背景にある、文化・習俗・歴史・政治・社会事情などについても視聴覚メディアなどを通じて学び、中国語文化圏についての理解を深めていく。 **履修条件・関連する科目等** 初級中国語２は、この初級中国語１を継続するものである。 **授業内容**　中国語の初級段階を総合的に学習し、音声面・文法面・表現面において中国語の全体像がつかめるような基礎的能力の養成を目標とする。まず、411個の音節を、声調を伴って正確に発音できるよう指導する。その上で、基本文法の理論的な説明だけでなく、身近な分かりやすい実用的例文を多く学習すること、語順・基本文型等について、日本語や英語と中国語の比較を行うことにより、中国語の基礎固めを達成する。また、言葉の勉強を通じて、中国社会の現状や中国人のものの見方や考え方等についての理解も促す。 具体的な授業内容は以下の通りである。 1．中国語概説、発音（1）声調（四声）、単母音 2．発音（2）韻母、ピンイン表記の規則 3．発音（3）声母　ほか 4．発音（4）変調、挨拶表現　ほか 5．中国語の文構造の大枠、人称代名詞、動詞「是」 ほか 6．助詞「的」、疑問詞、語気助詞「呢」 ほか 7．動詞述語文、連動文　指示代名詞のバリエーション　ほか 8．形容詞述語文、願望の助動詞　ほか 9．数詞、動詞「有」、比較表現　ほか 10．時態助詞「過」、「在」の用法（1）前置詞　ほか 11．まとめ　ほか **成績評価方法**　原則として学期末試験（80%）及び出席点（20%）による。 **教科書**　『日中いぶこみ広場　簡明版』相原茂、陳淑梅、飯田敦子著（朝日出版社） **参考書**　必要に応じて授業で紹介する。 **受講者へのメッセージ** ・最初の授業でガイダンスを行います。 ・初級中国語の最重要ポイントは発音です。十分な時間をかけて練習を繰り返します。 ・再試験は、定期試験では合格点に達しなかったが、再試験においては合格の可能性があると担当教員が判断した場合に行います。

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授業内容
中国語 Level 2a	劉　欣	水3	20	**本授業の目的およびねらい** この授業はかなり高度な聴解力と口頭表現力など特定の運用能力にしぼって行われ、受講者の専門的要請にも対応できる高度な実践的運用能力の養成を目指す。学習意欲が旺盛でなければ授業についていくことはできない。目標は「中国語を活かす」である。 **履修条件・関連する科目等** 中国語または中国に対して興味を持ち、且つ学習意欲が旺盛であること。中国語の初級（発音・文法事項等）を習得していること。 **授業内容**　この授業は中国語の初級文法をすでに習得した学生を対象とし、「習う中国語から使う中国語」を指向する。さらに高度な文法的知識を得ると同時に、生の中国語に実践的に対応できるような運用能力を養成する。 したがって、口頭表現力、聴解力を養成するため、できるだけ中国語を使うようにしたい。 言語文化科目Ⅰ、初級中国語に引き続き、さらに中国語世界の理解を深めていきたい。 **成績評価方法**　原則として学期末試験（70%）及び平常点（30%）による。授業時における教員のアナウンスに十分注意すること。履修取り下げは認めない。 **教科書**　随時、プリント教材を配布する。 **参考書**　必要に応じて授業で紹介する。 **注意事項**　履修取り下げ制度を採用しない。 **受講者へのメッセージ** ・最初の授業でガイダンスを行います。 ・参考書についてはガイダンスで説明します。 ・高度な聴解力、口頭表現力の養成を目指すので、中国語の基礎的な力が身に付いていること、積極的に授業に参加することが受講の条件です。

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授業内容
スペイン語 Level 1a	宮下　克子	水4	20	**本授業の目的およびねらい** スペイン語は三億人以上の人々によって話されている言語であり、国際化著しい今日の社会を舞台にめざましい活躍が期待される皆さんにとって、これを習得することは大変に有益なことと思われる。本授業においては、スペイン語の基礎文法を学ぶと共に、日常生活や旅行等に必要な簡単な会話を身につけるべく、様々な教材を用いて多角的に学習を進める。テキストおよび映像による教材はスペイン及びラテンアメリカ諸国に関する情報を豊富に含むものであり、その雰囲気、文化、歴史等に対する学習者の興味を喚起することは間違いない。 **履修条件・関連する科目等** 特にありません。初心者を基本的に対象としますが、かつて学んだことがあるがあらためてもう一度スペイン語を学びたいという人も歓迎します。 **授業内容**　第1課：スペイン語の文字と発音。アクセント。あいさつ。名前の尋ね方、答え方。 第2課：名詞の性、数。数詞。形容詞。冠詞。コーヒーなど、飲み物の注文。 第3課：主格人称代名詞。動詞の規則活用。否定文・疑問文。一般動詞を用いた文章の構成。住んでいる場所の尋ね方、答え方。何を勉強しているか尋ね、答える。 第4課：hacer, ver, salir など不規則動詞の活用。hacer を用い、何をするか、週末をどうやって過ごすか尋ねる。 第5課：ser 動詞の活用と用法。さまざまな形容詞を用いた表現。出身の尋ね方、答え方。 第6課：ser を用いた時間の表現。日付の言い方。指示形容詞。数詞。時間の尋ね方、答え方。誕生日を尋ねる。 第7課：estar 動詞の活用と用法。hay を用いた存在文。hay と estar の相違。場所を尋ねる。状態を尋ねる。 第8課：querer 動詞の活用と用法。何がほしいか、尋ねる。何をしたいか、尋ねる。何になりたいか、尋ねる。 ＊一回の授業で一課から一課半を学ぶスピードで進めます。15回めは、復習を行います。 **成績評価方法**　1．出席状況（30%） 2．学習に向かう姿勢（10%） 3．試験（60%） 履修取り下げ制度を採用する。 **教科書**　Hola! Que tal? 朝日出版社　辻本千栄子著 **参考書**　辞書：例えば『現代スペイン語辞典』白水社など。 授業時にプリント等を配布する。 **注意事項**　辞書に関しては、上記の『現代スペイン語辞典』に限るものではない。スペイン語を学習する上での各々の意図に応じて、あるいは好みに沿って選んでください。

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授業内容
スペイン語 Level 1a	宮下　克子	水4	20	**受講者へのメッセージ**　＊授業時には辞書を携帯し、熱意を持って学習に臨むことを期待する。 スペイン語の読み方は、所謂ローマ字読みであり、日本人にとってはさほど難しいものではない。特別な読み方は、ほんの数種類に過ぎない。またあまり発音を気にしなくとも、ネイティブの人々に理解してもらえる。そういった意味では、我々にとって比較的近づき易い言語と言えよう。主語を省くことができ、語順にも柔軟性がある。名詞に性があること、形容詞が後置されることなどは、英語と異なっている。また表現する際の発想においては、英語に比べると、より日本語に近いように思う。 スペインは世界遺産の多い国として知られている。イスラム支配の影響もあり、ヨーロッパの中でも際立って個性的な文化を育んできた。造形に優れた民族であり、殊に近代においてはピカソ、ダリ、ミロといった優れた芸術家を輩出している。建築家ガウディも、また、彼が設計し今も建築途上の大聖堂「サグラダ・ファミリア」も大変に有名である。音楽の分野でもグラナドスやタレガといった作曲家、イエペス、セゴビアといった世界的な演奏家を生んできた。絵画、音楽、建築に興味を持つ人々にとっては興味の尽きない国であろう。サッカーファンは、レアル・マドリードやバルサの国として親しみを感じるはずである。また、アルモドバル、アメナバルといった新しい感性を持った監督による映画作品も世界の注目を集めている。 ラテンアメリカ諸国は、成熟途上の国特有の魅力に満ちた社会を有している。そこには神秘的な自然と、日本に住む我々の想像を超える現実が存在している。その経済・政治に興味を抱く人は多いであろう。音楽、文学といった文化の面でも、多様な展開を見せている。スペイン語を学ぶことは、こうした魅力的なスペインやラテンアメリカ世界に近づく確実な一歩となるはずである。
スペイン語 Level 2a	川田　玲子	木4	20	**本授業の目的およびねらい** 一年次又は初級スペイン語で身につけたスペイン語の知識をもとに、スペイン語力のさらなる向上を目指す。 **履修条件・関連する科目等** 第Ⅰ・Ⅱ期のスペイン語１・２・３・４または初級スペイン語１・２の授業を終えている、もしくはそれに相応する基礎知識を有すること。 **授業内容**　この授業では初級文法知識を有する参加者を対象に中級文法の学習と会話練習および講読をおこなう。 文法事項の説明に関しては動詞の過去時制（点過去と線過去、過去完了）と未来時制（未来、過去未来、未来完了、過去未来完了）および接続法現在時制・過去時制を中心に毎回30分程説明する予定であるが、受講者の状況をみて柔軟に対応をする。 残りの時間で会話・講読といった実践力を高める練習をおこなう。 毎回の講義で１．日常生活に関する簡単な Lectura や Diálogo を読む。２．表現コーナーを設け、テーマに関連するスペイン語特有の表現を学ぶ。３．Lectura や Diálogo のテーマに関して質疑応答をする。会話練習は２～４人のグループ形式でおこなう。参加者は適宜配布される Lectura や Diálogo を読んでくること。なお、毎回最後に簡単な作文を書く。 **成績評価方法**　出席、授業への積極的な参加、随時おこなう理解状況確認小テスト、定期試験（60%）など総合的に評価する。

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授業内容
スペイン語 Level 2a	川田　玲子	木4	20	**教科書**　教官が必要資料を予め配付する。 **参考書**　山田義郎監修『中級スペイン語文法』白水社 その他については初回の講義の際に紹介する。 **注意事項**　毎回西和辞典を持参すること。 **受講者へのメッセージ**　このクラスは中級レベルの学生が対象となっていますが、受講者のレベルは毎年異なります。初・中級レベルの受講者が大半の学期があれば、上級レベルの受講者が多い学期もあります。また外国人学生が多い学期もあれば、日本人学生のみの学期もあります。そこで、受講者の顔を見てから、講義の方法やテーマなどを最終決定することにしています。 目的は「それぞれの学生の会話力と作文力の向上を目指す」です。グループ練習を取り入れ、ひとりひとりの受講者が出来るだけ多く会話をするようにします。必要に応じて文法説明も加えていきます。会話練習をする時は間違えることを気にせず、積極的に参加しましょう。間違えることは悪いことではありません。覚えるためのきっかけです。自分の間違いや他の受講生の間違いに気づいたときは正しい表現を確認しましょう。そして覚えていきましょう。 楽しくスペイン語を学びましょう。¡Disfrutemos en la clase!
朝鮮・韓国語 Level 1a	黒崎　慶子	金3	20	**本授業の目的およびねらい** 新たに朝鮮・韓国語を習う学生ばかりでなく、今一度基礎からやり直したい学生も対象とする朝鮮・韓国語の基礎を学ぶための科目である。 バランスよく朝鮮・韓国語を学べるよう、基礎文法の学習だけではなく日常 会話の練習や平易な文章の講読も行う。 **履修条件・関連する科目等** 初 級朝鮮・韓国語 level1b まで履修することが望ましい。 **授業内容**　1学期間の授業予定は次の通りである。 文字と発音 1．ハングルの構造 2．単母音 3．半母音＋単母音 4．二重母音 5．子音（初声）：鼻音と流音 6．子音（初声）：平音 7．子音（初声）：激音 8．子音（初声）：濃音 9．子音（終声）：鼻音と流音 10．子音（終声）：閉鎖音 その他、発音規則について学びます。 文法と会話 1．指定詞 2．漢字語数詞 3．固有語数詞 毎時間1課分を学習する。授業の冒頭で復習のための10分程度の小テストを行う。また、必要に応じて宿題、レポートを課すことがある。

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授業内容
朝鮮・韓国語 Level 1a	黒崎　慶子	金3	20	**成績評価方法**　平常点（30%）、期末試験の成績（70%）、4回以上欠席した者、期末試験を受験しなかった者は「欠席」とする。 **教科書**　『韓国語へのとびら－会話と練習をふんだんに－』吉本 一、中島 仁、石 賢敬、青 喜澈 著（朝日出版社） **参考書**　必要な物は授業中に指示する。 **注意事項**　毎時間の授業にきちんと出席すること。
朝鮮・韓国語 Level 2a	金　賢珍	金4	20	**本授業の目的およびねらい** 朝鮮・韓国語の初級文法をすでに習得した学生を対象とし「習う朝鮮・韓国語から使う朝鮮・韓国語」を指向する科目である。さらに高度な文法的知識を得ると同時に、生の朝鮮・韓国語に実践的に対応できるような運用能力を養う。したがって、口頭表現力、聴解力を養成するための授業ではできるだけ朝鮮・韓国語を用いる。また、言語文化Ⅰあるいは初級 朝鮮・韓国語に引き続き、さらに朝鮮・韓国語世界の理解を深める。目標は「朝鮮・韓国語を活かす」である。 **履修条件・関連する科目等** 言語文化Ⅰあるいは初級朝鮮・韓国語を履修した者を対象とするが、相応の力があればこれらを履修していなくても構わない。ただし、受講申請時に担当教員に相談すること。 **授業内容**　この授業では、教科書に沿い、原則として毎時間1課分を学習する。教科書は場面・テーマ別に構成されている。 1　美容院 2　紹介 3　タクシー 4　郵便局 5　銀行 6　映画 7　お土産 8　遊園地 9　休暇 10　病院 **成績評価方法**　出席状況を含む平常点（30%）、期末試験の成績（70%） なお、授業を4回以上欠席した場合はFとする。 履修を取り下げる場合は、履修取り下げ届を提出すること。 **教科書**　韓国語教育文化院『日本人のための easy Korean　2』（国書刊行会）ISBN: 978-4-336-04644-4 **参考書**　辞書、参考書については、名古屋大学生協書籍部の「外国語学習のアドバイス」のページに紹介されている。 http://www.nucoop.jp/book/dictionary.html **注意事項**　辞書(電子辞書も可)を各自購入し、毎回の授業で持参すること。 なお、朝鮮・韓国語学習に情報は以下のウェブページに掲載されることがある。 「名古屋大学の朝鮮・韓国語」http://korean.ilas.nagoya-u.ac.jp/

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授業内容
ポルトガル語 Level 1a	渡辺　有美	水1	20	**本授業の目的およびねらい** ○辞書を用いれば平易なポルトガル語を自力で理解できる程度の基礎文法を習得し、練習問題と実践会話でアウトプットスキルを磨く。 ○ポルトガル語の正しい発音と、異文化を背景とする人々と適切な意思疎通をするための基礎会話力を習得する。 ○ポルトガル語圏の文化に触れることで、語学センスや国際感覚を磨く。 ○他の受講者と協力してグループワークを行うことで、社会人基礎力に磨きをかける。 **履修条件・関連する科目等** ポルトガル語、ポルトガル語圏に興味があること。目的を持って主体的に参加できること。他者とよく話し合えてグループワークが可能なこと。 **授業内容**　テキストを各課２時限ほどかけて進行する。以下の内容に中間試験、期末試験、プレゼンテーションが加わる。 １、オリエンテーション。アルファベットと発音、挨拶表現 ２、名詞の性数、冠詞、数字 ３、主格人称代名詞と SER 動詞、疑問文と否定文 ４、形容詞 ５、直説法現在規則活用動詞、前置詞 ６、直説法現在不規則活用動詞（ir, ter, fazer）、疑問詞 ７、直説法現在不規則活用動詞（poder, querer）、曜日・月日の表現、数字 **成績評価方法**　到達度確認試験（60％）、発表（20％）、平常点（20％） 履修取り下げ制度を採用する。 **教科書**　「ブラジル・ポルトガル語を話そう（Vamos falar português!）」重松由美著（朝日出版社） **参考書**　辞書は、媒体は何でもいいので各自用意すること。 参考書は授業中に適宜紹介する。 **注意事項**　課題は授業前までに必ず自分でこなしてきてください。 **受講者へのメッセージ**　ポルトガル語圏世界への入り口となる本授業で、ネイティブのアシスタントと共にみなさんをサポートします。積極的にポルトガル語で話しましょう！

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授業内容
イタリア語 Level 1a	A. Sciucca	水4	20	**本授業の目的およびねらい** 旅行、留学などでイタリア滞在を考える学生に基本的な会話表現を習得してもらうとともに、イタリア理解の入り口を提供することをねらいとする。具体的には、空港、ホテル、買物などの場所において自分の要求を伝えるのに必要な表現を自在に用い、それに対して予測される返答を確実に理解することをはじめ、最終的には、様々な場面におけるイタリア人の思考・行動の特性を感じ取るための言語的な基盤を作ることを目指す。 **授業内容** 1．イントロダクション、アルファベットおよび数詞 2．名詞（男性・女性）とその活用 3．冠詞（不定冠詞・定冠詞） 4．形容詞（第一種形容詞・第二種形容詞） 5．動詞（are/ere/ire 動詞）と直説法現在形 6．動詞（are/ere/ire 動詞）と直説法現在形（不規則動詞） 7．前置詞 8．直接代名詞 9．再帰動詞（are/ere/ire）の直説法現在形（規則動詞） 10．過去分詞（規則動詞・不規則動詞）と近過去（are/ere/ire） 11．他動詞と自動詞 ＊随時、映画やTV番組の中から会話を抜粋し、生きたイタリア語表現に触れるとともに、イタリア人の価値観や志向、行動様式などについて考える機会を与える。 **成績評価方法**　期末テスト60％、中間ミニテスト20％、履修態度20％、5回以上欠席したもの、期末テストを受験しなかったものは「欠席」とする。 **教科書**　Loredana Chiappini & Nuccia De Filippo “Un giorno in Italia” vol.1 (L’italiano per stranieri: Bonacci editore) ISBN:9788875733742 **参考書**　必要に応じて授業で紹介する。 **注意事項**　イタリアは深い歴史と文化を持った国です。表層的なイタリア理解に終わらぬためにも、熱意を持って授業に取り組んで下さい。